



# かわしろ

令和7年10月特別号

(全国学力・学習状況調査)

小野市立河合小中学校

—他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成—

## 6年生 全国学力・学習状況調査について

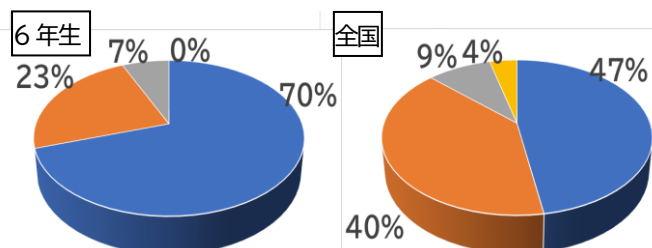
河合小学校長 眞田 まや子

河合中学校長 吉岡 秀晃

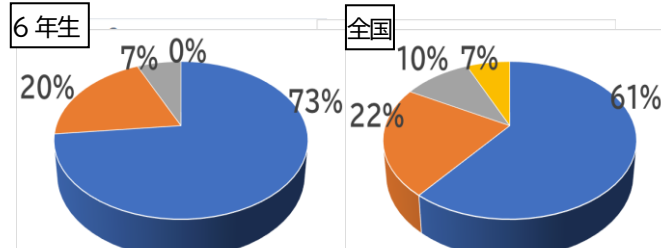
6年生を対象に、全国学力・学習状況調査が4月に行われました。本校の結果とその分析は下記のとおりです。今後とも学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの社会性を豊かにし、学力を向上させていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

### ◎6年生 生活調査 <とくに良好だった項目>

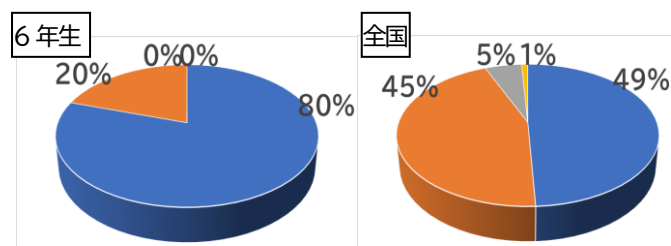
将来の夢や目標を持っていますか



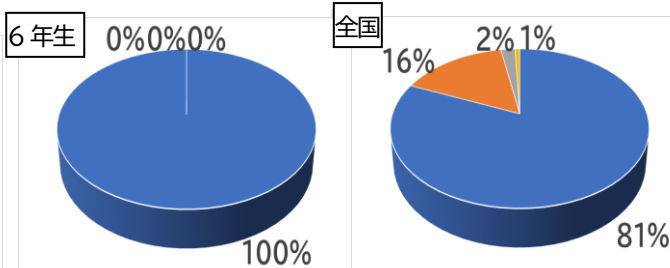
自分には、よいところがあると思いますか



人が困っている時に、進んで助けていますか



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



1:当てはまる 2:どちらかといえば当てはまる 3:どちらかという当てはまらない 4:当てはまらない

※6年生=本校6年生を示します。

### 【本校の特徴と考察、今後の課題】

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」など、生活習慣に関する質問の回答に関しては肯定的なものが多く、スムーズに生活を送ることができているようではありますが、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」質問は全国を下回っています。これからは、ゲームやインターネット等の使い方を見直し、家庭学習を計画的に行うことが必要であると思われます。また、上の4項目以外にも「学校に行くのが楽しいですか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「友たち関係に満足していますか」などの質問に対しても肯定的な回答が多くありました。

一方で、「新聞を読んでいますか」という質問は大変低く、また、「あなたの家には、およそどれぐらいの本がありますか」の質問に対しても全国平均より下回っていました。今後は、授業や自主学習において、新聞を読む機会を増やしたり、図書室の利用の回数を増やしたりして、心を落ち着けて書物に向かう機会を増やしていきたいと思っております。

## ◎6年生 学力調査

### 結果(全国平均と比較した本校の結果)と各教科の結果と今後の方針

#### (1)国語

<良好であった項目> ・「あつい日」を漢字に書く。 ・自分の経験から気付いたことを選択する。	<改善を要する項目> ・別資料から選んで空欄に入る内容を書く。 ・話し合いの記録の書き表し方の説明を選択する。 ・話し合いやインタビューの場面において、空欄に適切な言葉を選択する。
--	---

#### 【考察及び今後の指導】

- ・どの問題においても無解答がなく、自分の考えを書く習慣が身についています。また、あきらめず粘り強く頑張ろうとする力があります。
- ・話し合いの記録という形式に慣れておらず、文章の流れを読みとって空欄に当てはめることに課題がみられました。
- ・おの検定の成果が出て漢字はよくできていたので継続して取り組みます。
- ・条件つき記述が比較的よくできていたので、今後も書く活動に積極的に取り組んでいきます。
- ・国語のことばの学習(教科書の最後のページ 学習に用いる言葉、図を使って考えよう)を積極的に行います。
- ・複数の資料や情報を読みとることに慣れるように、国語以外でも積極的に授業で取り入れていきます。
- ・たくさんの情報から条件に合うものを取捨選択する力の養成が必要です。じっくり文章を読むことを重視し、次に接続語などに注目しながら、内容を正しく読みとれるよう学習を積み上げていきます。

#### (2)算数

<良好であった項目> ・数直線を分数で読む。 ・五角形を分割して面積の求め方を記述する。 ・ $1\frac{1}{2}+1\frac{1}{3}$ の計算 ・目的に合ったグラフを選択し、判断とその理由を書く。 ・「10%増量」は元の量の何倍か。	<改善を要する項目> ・複数の図形の中から台形を選択する。
--	----------------------------------

#### 【考察及び今後の指導】

- ・全体的に計算も含め、基礎的・基本的な問題の正答率が高いです。また、全体的に無解答がほぼ見られませんでした。
- ・記述する問題は全国平均を上回っているため、日頃から自分の考えを記述する習慣が身についています。
- ・おの検定に向けて、家庭と連携しながら取り組んでいるため、基礎的な計算力が身についています。
- ・問題文の量が多いが、根気強く問題文を読めていました。・日頃から長文を読解するような問題に取り組んでいきます。
- ・問題文の中に、答え方のヒントになるものがあることによく気づいていました。
- ・今後は、自分の考えをまとめるときには、例文を提示したり条件を指定したりして、端的にまとめられるように気を付けて学習をします。
- ・長文に慣れる力がどの教科にも必要なので、小学校では昨年度から継続している「読書の日」を、学校全体で盛り上げていき、中学校でも新聞や図書室の本に触れ合う回数を増やしていくなどして、本を読む環境や、読書経験を増やしていきます。

#### (3)理科

<良好であった項目> ・湯気のでき方。 ・顕微鏡の使い方。	<改善を要する項目> ・対照実験の条件について。・電磁石のはたらきを大きくする方法。 ・温度と氷のでき方。 ・水の流れ方。
-------------------------------------	---

#### 【考察及び今後の指導】

- ・顕微鏡の操作について、よく理解できていました。
- ・電気回路について、絶縁体の性質は理解できているが、目的に合う回路を正しく考えることができていませんでした。
- ・対照実験では、調べたい事からについて1つだけ条件を変え、その他の条件は変えないことについて改めて確認します。また、今後の単元においても対照実験はよく出てくるため、学習する機会毎に正しい条件と変えない条件を整理するようにしていきます。
- ・未知の植物の発芽の条件について既習の事柄を元に考えられるよう、普段から教科書のコラムや発展的内容について積極的に触れることで児童の植物に関する視野や概念を広げていきます。
- ・学校での学習が身近な環境問題と関係していることに気づけるよう、授業で社会的課題について触れる機会を増やしていきます。